

議会だより



議会主催の「出前授業・放射能とがれきのゆくえ」町民公開講演会のようす

第1回森町議会定例会5月第1・2回会議		2P
第1回森町議会定例会6月第1回会議		3P
第1回森町議会定例会6月第2回会議		4P
一般質問（11名・13件）		5P～11P

■発行／北海道森町議会
森町議会ホームページアドレス <http://www.town.hokkaido-mori.lg.jp/gikai/>
〒049-2393 北海道茅部郡森町字御幸町144-1 ☎01374-2-2185 E-Mail gikai@town.hokkaido-mori.lg.jp

森町議会主催放射性物質を考える学習会を開催

平成24年6月17日(日曜日)森町議会主催により「出前授業・放射性物質を考える学習会」町民公開講演会を森町公民館講堂で開催しました。

この講演会は、昨年の東日本大震災・東京電力第一福島原発事故が一向に収束していない中、国から災害がれき受け入れについて各自治体に要請がありました。

放射性廃棄物の危険性が解らないまま受け入れの是非について町民の皆さんも悩んでいるのではと思い、議会と町民の皆さんと一緒に放射性物質の問題について考える機会を企画しました。

放射性物質とはどういう物なのか、私たちの生活にどんな影響があるのか、私たちができる復興支援とはなにか、講師に現役高校教師で原発と放射能の出前授業のボランティア活動をしている川原茂雄氏を招き6月17日森町公民館で公開講演会を開催しました。

川原茂雄氏は、北海道長沼町に生まれ、1980年教師として最初に赴任した下川町で高レベル放射性廃棄物問題に関わって以来、高校で原発と放射能についての授業に取り組み、2011年から一般市民に向けての原発出前授業を始め、この1年間でその回数は100回を超えています。

会場には町内外約200人が参加し、講演で川原氏は旧ソ連のチェルノブイリ原発事故で子供たちを中心に甲状腺がんの患者が多発した事例などを挙げ、放射能に少しでも被ばくすると遺伝子が傷つき、健康へのリスクは高まる。

特に育ち盛りの子供たちは内部被ばくによる影響を受けやすいので食品には十分な注意が必要であると危険性を指摘した。震災がれきについては放射能に汚染された疑いがあり、移動させないのが国際的な常識。東北で処理するほかない。

がれきの受け入れ問題は日本人としての絆など心情的な議論ではなく、冷静に科学的に判断してほしいと語り、道内は何か別の被災地支援を探るべきだと訴えた

編集後記

6月会議の一般質問において、「防災対策」関連の質問が4名、「国保病院」関連の質問が3名の議員からありました。

今日の森町において、如何にこの2つの問題に対して、議員が、というより多くの町民が関心を持っていることを理解できると思います。

多くの読者の方が、それぞれの議員の立場から町民の声を行政に反映させるべく奮闘していることを、この「議会だより」から感じ取っていただければ幸いです。

なお、詳細な議会の会議録（議会での発言内容全文）は、議会のホームページにて公開されており、すのでご覧ください。（ホームページアドレスは、表紙の下段に掲載されています）

最近、毎週金曜日に総理官邸前に集結して原発再稼働の反対を訴えている紫陽花（あじさい）革命なる「民主化運動」が注目さ

れ始めました。

「紫陽花革命」という名前は「小さな花が集まった紫陽花」のイメージが、「国民一人一人には国を動かす力はなくとも、問題意識を持った大勢の人が集まれば、意見を政府にぶつけることが出来れば、国の方向性を変えることもできる」というデモの主旨と重なるからである、とされます。議会制民主主義が形骸化していることに対する警鐘と受け止めなければなりません。



広報公聴常任委員会
広報編集小委員会
松田 兼宗



役場の書類保管庫

に明らかにすべきであり以下伺いたい。
①文書紛失の経緯及び町長が文書を借り出した目的について伺いたい。
②保存簿冊持出簿への記入をすべきと考えるがいかがか。
③職員への処分と町長自身の責任をどのように考えているのか。
④調査特別委員会への提出文書が原本の写しではなく複写の複写であり信用性に欠けるものと考えてるがいかがか。

①現在警察に資料提出し捜査の対象となつていますので答弁は控えます。
②今後の取り扱い、やむを得ず持ち出しが必要な場合は文書取扱規程に基づき対応していきませんが、貸し出しはしないことを念頭に置きながら事務を進めます。
③職員は厳重注意を行い、自身の責任は捜査中なので最終的結果を踏まえ決断していきます。
④提出資料は複写したものの複写ですが、添付資料がすべて整っているので信用性は原本と同等のものであります。

警察の捜査中なので答弁できない

佐藤町長



現在、未利用の町有地

現在、町財産である町有地の貸付をしているが、貸付を行う場合の基本的考え方、又、貸している町有地の現状と課題についての認識を伺いたい。
又、土地賃貸借契約書の禁止条項に触れ契約の解除が行なわれた事例があるのか伺いたい。更に鳥崎町にある町有地はどなたと賃貸借契約を結び、町長との関係を伺いたい。

町有地の貸付について

堀合 哲哉 議員

町有地を借りているのは町長夫人

佐藤町長

町民の貴重な財産なので公平、公正に対応することを基本としていきます。現状では長期にわたり貸付を行なっている方も多く、貸付地の売却を進めていき、様々な事例、相談、問題に対応していきます。
土地賃貸借契約書の禁止条項に触れ契約解除になつた事例は確認されていません。

木村 総務課長

町有地を借りているのは町長の奥さんで、今年の四月に契約を更新しています。現在は知り合いの方が住んでいます。
実態がわかりましたので事務的に手続きを進めて改善していきます。

議会議長あての文書は直接議会事務局へ

議会議長あての文書や案内状は、日程の調整をする必要がありますので、直接議会事務局にお送りください。

◎送り先：〒049-2393 森町字御幸町144-1 電話2-2185

森町議会議長 野村 洋

E-Mail gikai@town.hokkaido-mori.lg.jp



平成24年通年第1回森町議会定例会 5月第1回会議

5月第1回会議が5月8日に再開され、条例改正や24年度一般会計補正予算などを審議する予定でしたが、開会して直ぐに3名議員から緊急質問の動議が出されました。1本目が松田兼宗議員から「防災協定」について、2本目が堀合哲哉議員から「町有地売り払い決裁書類の紛失」について、3本目が黒田勝幸議員から「町有地売り払い」件について緊急質問があり、町長答弁で議会が紛糾したことにより、この日は議案の審議に入れずに休会となりました。

平成24年通年第1回森町議会定例会 5月第2回会議

5月第2回会議が5月11日再開され、5月8日の第1回会議で審議できなかった議案を審議しました。町長提案の条例改正、補正予算、教育委員の再任案件等を可決し、休会しました。
(可決した議案は下記のとおりです)

- ◆平成24年度一般会計補正予算（第1回目）
歳入歳出に1,887万8千円を追加し、一般会計の総額予算総額を89億1,258万5千円とする。
(原案可決)
主なものは、グリーンピア大沼電話機交換機設備改修工事 1,100万円
駒ヶ岳小学校工事請負費（建物・工作物除去） 499万円
- ◆平成24年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1回目）
歳入歳出予算の総額は変更せず、歳入歳出それぞれ2億2,181万5千円とする。・・・（原案可決）
主なものは、宿日直業務委託料144万6千円、夜警員賃金△157万8千円
- ◆教育委員の選任について・・・（原案同意）
教育委員に、次の方を選任することに同意いたしました。
長 瀬 敏 文 氏（再任） 森町字森川町139番地2
- ◆森町税条例一部を改正する条例の制定について・・・（原案可決）
東日本大震災からの復興に関し、地方税法の臨時特例に関する法律等の施行に伴う森町税条例の一部を改正しようとするものです。
- ◆森町国民健康保険税条例一部を改正する条例制定について・・・（原案可決）
東日本大震災に係る被災住居用財産の敷地に係る譲渡期限の延長をするものです。

平成24年通年第1回森町議会定例会 6月第1回会議

6月第1回会議が、6月12日再開されて2日間の日程で審議が行なわれました。
町長提案の議案20件と議員提案の意見書5件及び11名の議員から一般質問13件がありました。
町長提案議案の主なものは下記のとおりです。

- ◆森町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について・・・(原案可決)
住民基本台帳法の一部を改正する法律が平成24年7月9日に施行され、外国人住民については、現行の外国人登録制度を廃止し、日本人と同様に住民基本台帳法の適用対象に加えることにより、外国人住民に対しても住民票が作成されるようになることを受け、所要の条例を改正しようとするものです。
- ◆森町緑地管理中央センター駒ヶ峯温泉ちっぷ林館条例の一部を改正する条例制定について・・・(原案可決)
駒ヶ峯温泉ちっぷ林館入浴料金等の一部を改正する条例です。
- ◆平成24年度森町一般会計補正予算(第2号)・・・(原案可決)
歳入歳出に3,054万2千円を追加し一般会計予算の総額を89億4,312万7千円とするものです。
主なものは、砂原中学校屋上防水工事・・・970万円
消防救急デジタル無線電波伝搬調査委託料・・・865万円
濁川1号線道路側溝整備工事・・・800万円
- ◆平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第1回目)・・・(原案可決)
歳入歳出から427万円を減額し、国民健康保険特別会計予算総額を29億11万1千円とするものです。
主なものは、一般職給与関係 △430万7千円
- ◆平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回目)・・・(原案可決)
歳入歳出から2万5千円を減額し、後期高齢者医療特別会計予算総額を2億1,403万4千円とするものです。
主なものは、一般職給与関係 △2万5千円
- ◆平成24年度介護保険事業特別会計補正予算(第1回目)・・・(原案可決)
歳入歳出に367万8千円を追加し、介護保険事業特別会計予算総額を16億2,514万4千円とするものです。
- ◆平成24年度介護サービス事業特別会計補正予算(第2回目)・・・(原案可決)
既定の歳入歳出に1,347万8千円を追加し、介護サービス事業特別会計予算総額を2億3,529万3千円とするものです。
- ◆平成24年度港湾整備事業特別会計補正予算(第1回目)・・・(原案可決)
既定の歳入歳出に450万円を追加し、港湾整備事業特別会計予算総額を501万円とするものです。
- ◆平成24年度ホタテ未利用資源リサイクル事業特別会計補正予算(第1回目)・・・(原案可決)
既定の歳入歳出の総額は変更せず歳入歳出それぞれ4,951万2千円とするものです。
- ◆平成24年度森町水道事業会計補正予算(第1回目)・・・(原案可決)
・人事異動による補正で、収益的収入及び支出予定額から1,053万8千円を減額するものです。
- ◆平成24年度森町公共下水道事業会計補正予算(第1回目)・・・(原案可決)
・人事異動による補正で、収益的収入から1,078万7千円を減額し、収益的支出で1,074万7千円減額。資本的支出から4万円を減額するものです。
- ◆平成24年度森町国民健康保険病院事業会計補正予算(第1回目)・・・(原案可決)
・人事異動による補正で、収益的支出から645万4千円を減額するものです。

宮本秀逸議員の3月会議での「町政執行方針産業・TPPについて」の般質問を5月発行の第32号に掲載しましたが、町長の答弁が一部掲載されていませんでしたので、改めて掲載しましたので、訂正してお詫びいたします。

町政執行方針(産業・TPP)について

【宮本 秀逸 議員】

①環境保全型農業をすすめる、完全無農薬、完全有機栽培を奨励していくとあります。実現には多くの困難が予想されるが構想はあるのか。
②TPPに関しては国内のあらゆる分野で議論されており、一般の報道では輸出産業(製造業)は賛成、農漁業の一次産業は反対と大別されたりしております。執行方針の中で町長は反対の立場をとっておられるが、農漁業が基礎的な産業となつている森町にあつては

当然の事です。
TPPが実施されると北海道農業は壊滅するだろうと危惧されております。森町としても実施阻止の為に反対運動を強くすべきと考えますが、具体的な行動を考えておられるのか。

TPPには反対、役場に垂れ幕も

佐藤町長

①環境保全型農業については当然多くの困難が予想されます。町としては生産者自らの営農計画に基づいた前向きな活動に対して側面支援をしたいと考えます。
②TPP参加には反対の立場を堅持します。しかし、TPPが結ばれたときの対策を今から考えて、1次、2次産業の町である森町が生き残りをかけて新しい農業や漁業、また食品加工を考えていくことが重要だということです。具体的な反対運動に

森町の防災対策について

【松田 兼宗 議員】

防災対策の進捗状況などについて、次のとおり伺います。

①「津波ハザードマップ」や「地震・津波避難計画」の策定状況と策定に当たって重要視しようとする点は何か。

②「森町建設協会」「函館地方石油業協同組合」などの防災協定の内容について。
③今後、他市町村、住民自治組織、関係団体などとの相互応援協定を締結の考えや予定があるのか。
④地震・津波避難計画の町民への説明会の開催予定に

ついて。
⑤津波の避難場所として主に公共施設を設定しているが、高所などの高台や高層建築物などを設定する考えはあるのか。
⑥福島原発事故以来、放射能汚染に対する不安が増加しているが、放射線測定の実施をする考えがあるのか。



災害時の避難場所に指定されている会館

地震が来たらすぐ逃げる

佐藤町長

①自分の住んでいるところがどういふところなのか確認していただくこと。

町有地売り払いの決裁文書の紛失について

【堀合 哲哉 議員】

五月会議において町有地売り払いの決裁文書の紛失について緊急質問をしたが、文書の紛失について認めた以外は警察の捜査の対象なので答弁できないと繰り返し文書の紛失の経緯を町民

②指定車両や関係施設への石油類の優先提供や一時休憩所としての施設提供など。
③まだ具体的なものになっていない。
④初めに6月9日に尾白内地区の説明会を開催し、以降順次開催。
⑤各地の高台を避難場所として設定しているが高層建築物については考えていない。
⑥渡島総合振興局で毎日測定しているが、今後検討したい。

平成24年通年第1回森町議会定例会 6月第2回会議

- ◆平成24年度一般会計補正予算（第3回目）・・・・・・（原案可決）
歳入歳出に40万円を追加し、一般会計の予算総額を89億4,352万7千円とするものです。
主なものは、森港地盤調査委託料 40万円
- ◆財産の取得について・・・・・・（原案可決）
住記系オンラインシステム機器一式を北海道市町村備荒資金組合から取得するものです。
主なものは、オンラインシステム機器一式 16,728,402円
- ◆監査委員の選任について・・・・・・（原案同意）
監査委員に、次の方を選任することに同意いたしました。
池田 勝元氏（新任） 森町字尾白内町1060番地3
- ◆固定資産評価審査委員の選任について・・・・・・（原案同意）
固定資産評価審査委員に、次の方を選任することに同意いたしました。
磯谷 俊仁氏（新任） 森町字富士見町167番地2

◆町長への2度目の問責決議を可決
6月13日、予定議事日程終了直前、黒田勝幸議員からの動議で、「問責決議について」が発議として提案され、審議の結果、賛成多数(賛成9名、反対6名)で可決されました。平成22年9月会議に続き2度目の問責決議となりました。
発議 第1号
上記の議案を、別紙のとおり地方自治法第112条及び森町議会会議規則第14条第2項の規定により提出します。

平成24年6月13日
森町議会議長 野村 洋 様
発議者 森町議会議員 黒田 勝 幸
賛成者 森町議会議員 松田 兼 宗・前 本 幸 政
中村 良 実・小 杉 久美子
堀合 哲 哉・東 秀 憲
川村 寛・長 岡 輝 仁

用語解説 問責決議とは
国や地方自治体の議会において、首長など特定の地位にある者について、その責任を問う旨を意思表示した決議。不信任と違い、法的拘束力はなく、議会としての意思を示す決議の一種

町長は平成21年に町有財産である土地を売却した案件で、前副町長を公文書偽造の疑いで平成24年4月19日森警察署に告発状を提出しました。

しかし、周知のとおり前副町長は当該事件の責任を取り昨年11月末に既に辞職しております。また、前副町長が辞職する直接のきっかけとなった町有地売却をめぐる、この売却の決済書類の一部を紛失したことが発覚していた問題で去る3月に職員3名も既に処分しております。しかし、最高責任者である町長は警察の捜査への影響があるとして未だに一切の責任を明らかにしていません。

これら一連の事件は、町長が町の責任者として職責をきちんと果たしていれば起り得なかったものであり、町長自らも責任を明確にすべきであります。

さらに平成24年第1回森町議会定例会5月第1回会議において議場内で議員の質問中や当日の議会運営委員会開催中に誹謗中傷、暴言を吐くこのような行動は町理事者としては不適格者と言わざるを得ません。

よって、厳しくその責任を問うものである。

以上、決議する。平成24年6月13日

施設であると思っております。
現状では中途半端な感じは否めないと思っております。案内看板設置の検討もしてまいります。職員同士が集い勉強、調査、見学者に説明の出来るよう努めてまいります。

今後の国保病院運営について

〔前本 幸政 議員〕
国保病院運営は、大変厳しく毎年多額の一般会計からの繰入金等で事業運営をされている状況です。
多くの医師の早期退職や6名に及ぶ看護師の退職等、町民は不信感を抱いています。健全な病院運営を図る上で何点かお聞き致します。
①病院側としての今後の体制や考え方は。
②病院内の機構改革を実施したと聞いたが、職員は理解しているのか。
又、医師や看護師の働き

やすい環境作りになっているのか。
③何人もの医師が、病気等何らかの理由で早期退職をしているが、病院運営に影響があるとしたならば大きな問題である。任命責任も視野に入れて考えるべきではないか。
④診療姿勢に対し家族から抗議（民事裁判）と聞いたが事実か。



森町国保病院玄関に掲示しているお知らせ

健全な病院経営を目指します

①医師の確保は、6名として安定した医療を提供したい。
佐藤町長

②国保病院は、何十年もあきれた状態が続いている、この病院を躍起になって改革に取り組んでいる。どうか理解をしてほしい。
③任命責任になるかもしれないが、医師を呼ぶ事は大変な事である。若手の医師がいらないため、病気持ちの医師でもいいから来てもらいたいと考えている。
④事実である。現在進行中のため、詳細についてはお答えできません。

防災行政について

〔宮本 秀逸 議員〕
東日本大震災以降、地震津波に対する備えが急がれております。以下伺います。
①今年四月から地震津波のハザードマップの説明会をやるとしていたが未だ行なわれていないのはなぜか。
②学校を含め避難所に指定されている公共施設の耐震化対策、進捗状況は。
③津波の予想被害地域には

森町の基幹産業たる水産関係の施設、企業が集中しているが、緊急災害時に対応するためのBCP（事業継続計画）の策定が重要と思うが、行政として取り組んだか。
④災害時の必要物資の備蓄状況について伺いたい。
⑤小中学校の防災教育について伺いたい。又、実践的防災教育総合支援事業の取り組みを検討したか。



災害時の物資を備蓄している防災センター

説明の遅れは申し訳ない

①北海道の津波対策の発表
佐藤町長

を待つて遅くなった。申し訳ないと思っています。
②津波被害にかかわる施設として森中、砂原中の耐震化が終了し今年は森町公民館、砂原支所の耐震化診断を行い、残りは統廃合も含め進めていきたい。
③BCP対策はこれからだが地震津波だけではなく駒ヶ岳噴火もあることから検討しなければならぬ。
④アルファ米300食、3万本の水寄贈予定、テント13張り、防災シート50枚、土のう4,990袋、毛布1,660枚、ベッド、トイレ等を備えている。

DVD等で防災教育を行っている

⑤噴火、津波のDVD等で防災教育を行っており避難訓練も定期的に行っている。実践的防災訓練教育には取り組まなかった。
磯邊教育長

でも少し時間を頂きたい。
④4月から石川周先生を招聘することができ、現在常勤医師3名で平日の当直、救急医療の確保、そして日常の診療を維持していることもご理解願います。
地域住民の意見も聞きながら、病院の体制を整えていく、これはやっぱり一緒にやるべきだともいいます。

津波対策について

〔東 秀憲 議員〕

去年の3・11の津波発生以来、約1年半が経過しその間、9人の議員が事の重大さを捉え、一般質問したり、常任委員会で細部にわたり調査を行なっております。

町長は対応のできるものについては、すぐ取り組みと答弁しているにも拘らず、住民や議会に何ら説明や報告もありません。
災害行政は、迅速な対応



津波避難のハザードマップ

地震津波ハザードマップの住民説明会を順次実施したい

佐藤町長

①既に、町内30地区の地震津波ハザードマップが作られ、6月9日から尾白内町内会を初めとして、順次説明会を実施します。
②避難所の標高、避難経路の表示板の設置については、国道、道々施設の管理者の

ご協力をいただき、それぞれの協議を終え次第、設置を進めます。
③高齢者、独居老人、障がい者等の要援護者避難については、町内会、消防本部、社会福祉協議会等と協議の上、平成24年度末までに体制づくりをいたします。
④今年度の津波避難訓練については、さくら幼稚園、さくら小学校、砂原中学校、石倉小学校、鷺の木小学校、尾白内小学校を計画しております。また、各保育所では、毎月1回噴火、地震、津波等を想定した非難訓練を実施しております。

町民対象の防災訓練は、本年度も予定しております。また、防災教育については、各学校の避難訓練時に防災知識の学習を併せて行なっており、町民の方々に対しては、女性学級や防災講演会等を利用して行ないます。

郷土館（2館）の活用について

〔中村 良実 議員〕

町の歴史を顧みるとき自然環境に恵まれた地でもあります。時には自然災害の恐ろしさも体験したことでしょう、一方海では恵みで溢れた時代もありました。この時代を支えた多くの用具等が今は眠っております。こうした用具を展示閲覧する事が必要と思います。昭和4年の駒ヶ岳大噴火を再現した貴重な資料、写真等が保存展示されております。この施設は最近ではほとんど利用されておりません。これからの社会を担う子供達に郷土に対する先人の生き方、風俗、慣習、産業等を理解していただくことはと郷土愛が育まれるのではと推測しております。次の点について、おたずねします。

①2館ともオープン時は管理人を配置していたが、現



砂原地区の郷土館

在は不在であります。
②施設の可否その理由は。
③施設の今後の活用方法は。

利活用は職員のアイデアで

磯邊教育長

①2館とも入館者の減少により管理人は配置していない、申し込みのみ開館する。
②利活用すべきと考えております。先人の風俗、慣習産業等を理解していくことにより郷土愛が育んでいくよう努力をしていく。
③見学を通じ再認識をする

一般質問

子育て支援について

〔小杉久美子 議員〕

森町保育基本計画に関するアンケート調査の結果が提出されました。このアンケートは、0歳から5歳の保護者全563世帯を対象に配布され、回収率は65.7%と高い回収率でした。目的である子育て支援に関する生活実態や意見、要望が把握できた事と思います。
①この意見欄を読み、町長はどのように受け止めたか。
②民営化の前に、いま出来る事から子育て支援に手を差し伸べるべきと思うが町長の考えは。
③少子化対策にもつながる



母親学級の様子

子育てしやすい町づくりとしての考えは。

貴重な資料として活用

佐藤町長

①多様化する保育ニーズにこたえるべき特別保育事業を中心に早急な対策が重要

通年第1回定例会6月会議での一般質問は、11名の議員から町政全般について町理事者の考えを問いました。
質問・答弁の趣旨を要約しています。（再質問、再々質問を含む。）

である。
②子どもを連れ気軽にに行ける場所。お母さんが情報交換出来る場所等、早急に検討させていただきたい。
③若い世代や職場で働く女性が安心して子どもを産み、子育てができ、次代を担う子ども達が健やかに育つよう、関係機関が一体となり多様化する保育ニーズの充実に努める事が大切と考えます。

住宅建設者への支援について

〔黒田 勝幸 議員〕

長引く不況で個人収入も減収し、新築住宅件数も減少傾向にあります。当町においても23年度の新築件数

は29件です。
その内、町内業者が請け負ったのは6件で町外業者は23件です。
特に、函館からのハウスメーカーがほとんどです。町外業者の場合は電気・水道・基礎工事等の関連業者も一緒にきますので町内業者には、ほとんど廻ってきません。

町内の建設業並びに関連業者は仕事も少なく大変な現状もあります。町内業者の育成と町の活性化のためにも町内業者に頼んだ場合は、建主に補助金等の措置など、何かできないものをおたずねします。

なお、新ひだか町では今年4月より新築工事請負金額の5%（上限100万円）リフォーム、増改築工事請負金額200万円以上で請負金額の10%（上限50万円）です。又、函館市でも住宅リフォーム補助金制度が今年度より始めました。



町内の住宅新築現場

支援策の検討を図る

佐藤町長

町内業者の新築住宅を受注する件数が減少傾向にあることについては周知の事実として受けとめております。森町としましては、昨年度地域経済対策事業として建設業界の景気浮揚策として建設プレミアム商品券総額1,800万円を発行し需要を促してきたところであります。

しかしながら、町内業者の育成を含めた町の活性化に寄与する施策については、

まだまだ前向きかつ積極的
に取り組みべき事業である
と再確認した次第です。
今後におきましては、効
果的かつ有効な助成と支援
策の検討を図っていきたい
と考えております。

国保病院につ いて

【黒田 勝幸 議員】

宮原先生は今年1月に着
任し、6月3日付で退職す
ることと、すでに5月
15日より出ておりません。
これまでも、新任医師は平
均2年間位で辞めていく現
状があります。

宮原先生については、紹
介業者へ仲介料520万円
払って来ていただいた先生
です。

去る5月30日の全員協議
会において辞めた理由は病
気のため先生の希望で6月
3日に退職したいと申し出
があった。退職願の提出を
求めたのに対し、町長は内
容が個人の誹謗、中傷があ

り出したくない、普通の状
態でない、先生の事を思っ
て見ない方がいいのではな
いかと宮原先生の一方的な
理由の様な答弁をされまし
たが、私は退職の理由はそ
れ以外の見えない所にある
のではないかと疑問を持っ
ております。又、看護師さ
んも6名辞めるとの事で、
町民も患者も、この病院は
どうなっているのだと怒り
と共にあきれております。



森町国保病院

町民の命と健康を守る病
院がこの様では病院の信頼
度も低下する一方ではない
かと思いますが、今後の病
院経営も含めて町長にお尋
ねします。

宮原先生の紹介手数料は
520万円です。6月3日
に退職したい、それまで休
暇したいと申し出があった。
院長と会談し、先生の健康
状態を優先し、退職を認め
ました。

看護師については8月ま
でに6名退職予定となつて
おり、本人の病気や家族の
介護等に専念したいという
ことが主な理由です。

なお、看護師の採用につ
いては既に6月1日付で2
名採用しております。私の
病院経営の考え方は町民の
皆さんが安心して受診でき
る病院になつて欲しい、そ
れが第一です、その後経営、
採算性という考えるこれが
基本的な考え方です。

町民が安心して 受診できる病院 が第一だ

佐藤町長

防災対策（津波） について

【山田 誠 議員】

昨年の3月11日の東北地
方を襲った地震、津波は各
地に大規模な被害をもたら
した事は記憶に新しいとこ
ろでございます。

最近各大学、地震研究所
そして気象庁等は頻繁にこ
の地震による津波のシミュ
レーションを行なつており、
同程度の巨大地震（M8.9）
が、日本各地どこで起
きてもおかしくないとテレ
ビ、新聞等で紹介されてお
ります。

住民が津波から逃れるた
めには、高台へ避難するの
が一番安全性が高いと言わ
れています。

当然森町全体の整備対策
を行なうのは言うまでもな
いが、特に砂原地区の5丁
目、6丁目（旧彦瀧地区）
は海拔ゼロメートル地帯と
言われております。

高台への避難は、津波警



台場公園から海側のようす

報発令から30分以内が勝負
で避難の条件と言われてお
ります。

目前に台場公園があり海
抜21Mあり一時避難所とし
て指定すべきであります。

この台場公園につながる
道路を東側の方にもう1本
避難道路の新設を早急に行
い綿密な計画を策定し、安
全安心に暮らせるまちづく
りを行なうのが町長の責務
だと考えます。

道路新設は不可欠と思ひ
ますので、町長の所見をお
伺いいたします。

旧彦瀧地区の住 民が納得のいく ようなことを考 えて行きたい

佐藤町長

森町の町内会連合会の総
会にて、これから各町内会
を回つてハザードマップに
よつて説明していきますが、
台場公園は、階段が何かを
と思つております。

旧彦瀧の住民が納得のい
くようなそういうことを考
えて行きたいと思つており
ます。

中学校の制服の 統一化について

【西村 豊 議員】

現在、砂原中学校がブレ
ザー、森中学校が学生服・
セーラー服と同じ町内で違
う制服を着用しております。
砂原中学校のブレザーの方
が購入金額が高いという
声が、父母からあがつてお
ります。



下校中の森中学生

早急に両中学校と 話しをしたい

磯邊教育長

保護者の方が創意工夫し

国保病院の改革 と運営について

【川村 寛 議員】

森国保病院の改革と運営
について先日、町長と事務
長から 宮原先生と看護師
の退職についての説明があ
りました。

当初、診療時間の延長を
期待した町長は元より患者
さん、町民もガッカリしお
ります。まだ来て間もない
先生がどうしてというのが
実際の心境であります。

以下質問をさせて頂きま
す。

①町長・事務長の説明と患
者さんそして町民の捉え方
が随分違います、実際の
ところは、患者さんや町民
の話が耳に入っているの
でしょうか。

②12月の一般質問で、病院
側と町民の意見交換会を準
備出来次第実行する旨の答
弁がございましたが、進捗
状況をお知らせ頂きたいと
思います。



森町国保病院受付窓口

町民の意見を聞 き改革も進めて 行く

佐藤町長

①宮原先生の健康状態を優
先し、退職を認めたもので
あり、先生の病名につきま
しては個人情報観点から
申し述べられませんが、
ご理解願います。

②このような医師の体制に
なりましたので、町民の皆
様とお話をする機会につい